

若者の引き込みも期待

日之出運輸

人材派遣会社設立

【福岡】日之出運輸(初井幸雄社長、遠賀郡水巻町)は、今年4月に人材派遣事業に参入した。目的は人材不足の解消だけでなく、荷主との信頼関係のさらなる構築、そして同社下ライバーの終身雇用、さらには、若者層の引き込みを狙ったものだ。人材派遣という新事業を立ち上げ、人材派遣会社の社長として、陣頭指揮を執る同社の大宅秀順常務は、「顧客にとっても、当社にとってもメリットの大きい事業にしていきたい」と話している。

大宅常務によると、荷主の担当者と話した

びに、工場などでの人手不足が蔓延している現状を聞いていたという。その声は、年を追うごとに深刻さを増しているようであり、トラック業界だけでなく、荷主企業にも、人

手不足が蔓延していると同常務は指摘する。

一方、同社では、創業60年を迎える老舗であり、これまで、定年で退職していくドライバーを幾人も見送ってきた。同常務によ

ると、その中には、ドライバーとして、ライバーとして、では難しくても、他の仕事なら、またま

だ元気で働ける人もいたという。しかし、同社では、雇

用を続ける環

境が整備できていなかったので、ただ見送るしかなかった。

得意先の人手不足、そして同社の定年退職者の再雇用を考えた時、人材派遣という道

が開けたと、同常務は振り返る。

そして4月に、サンライズ・スタッフ(北九州小倉北区)を設立し、同常務が社長に

就任した。

4月の設立から登録を開始。すでに顧客の工場などへ、人材を送

り込んでおり、順調な

「20代から30代の若

者、自分の適性に合った仕事が見つからない」といふことで、とりあえず派遣会社に在籍しながら自分の仕事を

見つけたいと考える人が増えている」とし、

「人材派遣会社は、そうした若者を引き入れる突破口になる可能性もある」と、同常務は

指摘する。

荷主との信頼関係のさらなる構築、そして、自社の終身雇用の実現、さらには、若者層の引き込みと、大きな可能性を秘めた人材派遣事業への参入に、同常務は、「顧客として

私も運送会社にとっても慢性化する人材不足を少しでも解消できれば」と期待を寄せている。



人材不足解消に期待を寄せる

荷主との信頼関係構築、終身雇用の実現

(高田直樹)